



# 104

## 小田 啓二でした!

みなさまお元気ですか。いつも活動にご協力いただきありがとうございます。

現在、大きく社会問題化している話題の一つに危険ドラッグの乱用が挙げられます。GAの活動でも、数年前からハーブ店と称して危険薬物を販売する店舗情報が寄せられており、7月には、呼称が脱法ドラッグから危険ドラッグに変わるなど、総力を挙げた取り組みが始まりました。

麻薬(危険ドラッグ)は「売らない」「買わない」「使わない」が撲滅の三原則と言われており、GAでは、1980年代に全米で展開したキャンペーンでも、この三点を強調していま

日本でも地域住民や行政が動き始めており「売らない」ために、例えば豊島区では不動産業者と覚書を締結し、当該建物を危険ドラッグの販売等の目的の場合は契約を解除できることを努力義務と定める「豊島区危険ドラッグ排除条例」を検討しています。では、私達のようなボランティアができることは何かといえますと、啓発活動です。日頃のパトロールや街でのコミュニケーションの中から情報を集め、各機関と連携し、機会がある度に危険性と手を出さないように声を上げていきます。

ットで販売されたとしても、最終的には「買わない」「使わない」という揺るぎない判断ができる人を育てていくしかありません。好奇心や甘い言葉に惑わされることなく、自分の意思で危険を回避し、身の安全を守ること、遠回りのようでも一番の近道をGAでは選びます。

利便性や安全性が増す生活では、つい最新のテクノロジに頼ってしまいがですが、車の自動ブレーキが象徴するように、人間が本来持ち合わせている危険を察知する能力を鈍らせる可能性もあります。

どんな便利な世の中になったとしても、自分の身の安全は、他人任せではなく自らが作り出すことを忘れないでいただきたいと思えます。(おだ・けいじ)

### エンジェル・オブ・ザ・イヤー LINER (渋谷支部)

最も活躍した方に送られる、エンジェル・オブ・ザ・イヤー(最優秀個人賞)を受賞された、渋谷支部長のライナーにお話を伺いました。

渋谷支部へ入会したきっかけは、学生時代にニュースでGAの活動を見た事が始まりでした。学生生活において打ち込めるものが欲しかった事、また住んでいた所が渋谷に近かった事が後押しとなり、渋谷支部に入会をいたしました。

渋谷支部は、GAが日本で活動を始めた活動地域の中でも最も古く、その歴史は18年間に及びます。割れ窓理論に基づき、落書きを消去活動や違法チラシ除去活動を

いち早く始め、様々なマスメディアにも取り上げられ、街ゆく人に渋谷でよく見かけると言われるのが当たり前となりました。

毎年夏休みシーズンになると、ガーディアン・エンジェルズ・ウィークと称し、1週間の間、渋谷支部メンバーを始め他支部からもメンバーが集まり、賑わいをみせる渋谷駅周辺において、パトロール活動を行っております。

若者が多い渋谷の街は、流行の先端を行き変化の早い街です。しかしその一方では、昔ながらの商店街組合なども根強く残っている街で、活動を始めてから渋谷のイメージが変わることもありました。

現在の渋谷の街は、昔と比べ早い時間に目立ったトラブルが少なくなり、泥酔者が減ったと感じられます。また、若い世代が羽目を外さなったように感じられます。ただし、渋谷の街も社会問題となっており、危険ドラッグの使用が数年前より増え、駅周辺で危険ドラッグ



ております。

を販売している店舗が少なからず存在し、販売している店舗は、常習者となり、



渋谷支部ベレー・ストラップ

そう言った渋谷の現状を踏まえ、危険ドラッグの対策を打っていき、事を考えております。

は、GAに入会して10年目を迎えております。活動を通じ遣り甲斐を感じた事は、人に感謝された時と、入会したメンバーが長く活動を続けリーダーとなり、さらに活動に取組んでいる様子を見ていけると、嬉しく感じます。今後も活動を存続していきたいと語っております。

今後の目標は、パトロール活動中に誰よりも先に、いち早くモノ・コトを察知し、それを上手に世の中に発進できる仕組みを作ればと考へております。そして、地域全体で対策を取っていくのに、橋渡し役となれば良いと思えます。

Show your SMILE!!  
  
www.guardianangels.or.jp



インターネット安全教室の風景

最後に、松山市は現在、街の再開発をしている最中ですが、今後も状況に対し素早い対応で、松山市の治安向上を目指していきます。  
 (松山支部長 ベネ)

四国地方最大の都市である松山市では、2004年に支部が発足し、松山城の麓に広がる松山平野にある、大街道銀天街及び二番町・三番町通りを主な活動地域としております。

支部設立のきっかけは、暴走族の問題を抱えていた松山市で、地域の人たちが何とかしたいと考えており、松山支部発足へと繋がりました。GAで最初に青色回転灯パトロールを行った支部でもあります。

現在では、日本全国で抱えている問題同様、若い世代が街から少なくなり、暴走族もほぼ居なくなりました。街から若い世代が減った理由としては、少子化はもとより、スマートフォンなどのインターネットの普及により、人と人とのコミュニケーション・ツールが変わり、街が居場所ではなくなつた事が挙げられ、この現象は他地域においても見られております。

その様な中、松山支部は市と連携をし、数年をかけて全ての市立中学校でインターネット安全教室を行いました。そこで分かった事は、生徒の普段の学校生活と、SNSなどのコミュニケーション・ツールを使った時では、性格が変わり、先生方も驚く事があるそうです。加えてSNSなどが、いじめのツールとしても普及されてしま

情報  
**危険ドラッグの現状とこれからの課題**

今年の6月に豊島区池袋で発生した脱法ハーブ絡みによる暴走事故では、歩行者8名が被害にあり、内1名が死亡した。事故後、豊島区では「危険ドラッグ排除条例案」の概要をまとめ、区として危険ドラッグの排除を目指している。また、兵庫県では全国発として、販売店を取り締まる条例案が可決された。

以前より、危険ドラッグを使用し事故を起こす事例はいくつもあり、11年に0件だったのが、12年に19件、13年には38件、14年7月時点では11件の事故が発生し37人が巻き添えで死傷している。

14年上半年に危険ドラッグで検挙された人数は145名の内8割が薬物事犯初犯者であった。覚醒剤や他の薬物と比べ、安価に購入できる事から、若い世代が使用する傾向にあり、薬物使用の入口となる事が危惧されている。

しかし、危険ドラッグは成分が規制されるにつれ危険性も増している。麻薬や覚醒剤よりも危険な成分が含まれている物もある。9月に総務省消防庁が発表した数値では、危険ドラッグと思われる救急搬送者は2009年で30人、2012年は1785人、2013年は1346人で、今年上半年では621人が搬送されている。死亡した事例としては、精神錯乱状態になり暴れた後に死亡、自宅で座った姿勢のまま死亡、また、自宅で血だらけになって死亡した人も存在する。

一方、成分の解析には高度な知識が必要であり、検挙及び起訴に繋がらない実情がある。危険ドラッグ事

**BOOK de KIFU**

BOOK de KIFUとは、株式会社エルダーズネットワークが運営する、BOOK FINEによって買い取った本やCDの買取金全額を、NPO法人などに寄付をしているサービスです。寄付する本やCD・DVDなどをダンボール・紙袋に詰め、申込フォームで申込み、寄付する物を送っていただければ買取金全額が寄付できます。ご寄付できる本やCD・DVDなどがございましたら、下記よりお申込み下さい。  
 古本募金・NPO応援BOOK  
<http://elders-network.co.jp/bookdekifu/index.html>

オイルと称した覚醒剤類似成分含有(原封者より)

今後、都道府県間の相互関係を始め、公的機関と市民が協力し、危険ドラッグを追放していく必要がある

件で検挙された中から起訴に至ったのは、13年で18.9%と、覚醒剤の80%と比較し低い数字であった。

起訴率が低い理由として、薬物事件に関しては、使用者が違法薬物であるとの認識も必要とされ、認識を否定し不起訴になった事例もあり、実社会における実害を防げない現状があるのに加え、前述したように成分が繰り返し変えられ、規制された物に当てはまらない理由がある。

入手先については、全国に215店舗あった販売店が現在では78店舗(9月末時点)まで減っている。よって入手先はインターネット販売が主流になりつつあり、インターネット業界の企業から対策を申し出て、販売の監視を強め危険ドラッグの対策を行っている状況である。また、都内の店舗が閉まった事により、販売店舗を神奈川に移す業者が増えた。

**ご寄附のお願い**

ご協力の程よろしくお願いたします。

ゆうちょ銀行振替口座 00130-9-549237  
 または  
 三菱東京UFJ銀行 赤坂支店 普通預金 5190124  
 口座名義 特定非営利活動法人  
 日本ガーディアン・エンジェルス

日本ガーディアン・エンジェルスは、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-78)として認定されています。寄附金は、寄附金控除等の対象になります。

**メンバー募集!**

ガーディアン・エンジェルスの一員として、活動に参加されたい方を募集しております。  
**16歳以上の方は正会員として(未成年者は保護者の承諾が必要)、15歳以下の方はジュニア・メンバーとして参加いただけます。**

**10-4 事務局だより**

全国のメンバーの皆様、健康には気を付けていますか。と言うのも今年、精力的に活動されていたメンバー2名が長期入院をする事態に見舞われました。2名と言うのは把握している数字ですから、実際には他にも体調を崩された方がおられるかもしれません。遅ればせながら、そうした方に心よりお見舞い申し上げます。

事務局としては、皆様へ過度の負担をかけていないか、大いに反省するところです。一方、GAに期待される方々も多く、難しいところです。最後にもう1度強調します。皆様、どうぞご自愛ください。